

エ＜事例名＞

--

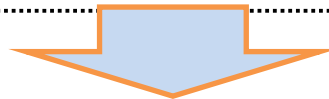
ア＜事例の概要＞

- ・ 中学校1年生女子A。家族構成は、父、母、Aの3人。
- ・ 小学校からの申し送り情報に「孤立しがちである」「寡黙な生徒」とあった。
- ・ 体育祭の折、円陣に入れず、副担任が声をかけて輪の中に入れることがあり、普段から一人でいることが多い。他の学級に仲のよい友人が一人いるだけである。
- ・ Aがいじめアンケートに「あだ名で呼ばれる。行動を笑われる。菌扱いされる」と書いた。
- ・ グループ学習で隣の生徒と席が離れているときがある。
- ・ 定期テスト後に、同じクラスの男子Bが「Aのテストの点数が俺よりひどすぎる。やばい」と言っているのを同じクラスの女子生徒たちが心配し、教科担任に伝え、Bを指導した。
- ・ 担任は今年初めて担任になった若い教員である。いじめについてAから話を聞いたところ、いじめ被害の事実を認めつつも「報復が怖いから黙っていてほしい」とAが話したので、担任は対応に困っている。
- ・ Aは発達検査では知的障害境界域であり、言葉による表現を苦手としている。
- ・ Aが教室で一人で過ごしているときには、アニメ漫画を描いていることが多い。



イ＜事例を見立てる＞

--



ウ＜対応を考える＞

- ① 「
・
・
」
- ② 「
・
・
」
- ③ 「
・
・
」